

新入職員紹介

令和5年4月に入職した職員です。皆様よろしくお願ひします。

4階病棟
看護師
くわばら ゆうみ
桑原 有未



4階病棟
看護師
なかお あき
中尾 有稀



4階病棟
看護師
ひょうまさかず
馮 正和



リハビリテーション科
理学療法士
しまだ ひろき
嶋田 浩希



リハビリテーション科
作業療法士
おがわ たまき
小川 珠季



リハビリテーション科
作業療法士
ぬまたに たいち
沼谷 太一



栄養管理科
調理員
さけもと そら
酒本 宇宙



医療法人 千徳会

桜ヶ丘病院

院長 成川 暢彦

〒649-0304 和歌山県有田市箕島904
TEL : 0737(83)0078 FAX : 0737(83)0079
E-mail : sakura_2007@cherry-hill.or.jp
http://www.cherry-hill.or.jp

●地域連携室
TEL 0737(83)0829



診療科目等

- 内科(呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・脂質代謝)
腎臓内科(人工透析)・脳神経内科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科
婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・各種健診・人間ドック
- 入院許可ベッド数 99床
一般病床:49床(特殊疾患病棟入院科1)
医療療養病床:50床(療養病棟入院基本科1)
- 腎センターベッド数37床(最大受入患者数114名)(夜間透析実施中)

医療法人千徳会

- 本部 〒649-0304 和歌山県有田市箕島1265
電話 0737-83-0881 FAX 0737-83-0079
- さくら訪問看護ステーション 〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1
電話 0737-83-0077 FAX 0737-83-0079



千徳会 理念と基本方針

千徳会理念

1. 信頼される医療
2. 安心・安全の医療
3. 慈愛あふれる医療

基本方針

1. 思いやり(相手の立場になり考える)
2. 感受性を豊に(小さなことにも感動を)
3. 創造性(常にチャレンジ)
4. 合理性(道理に適い能率的に)
5. 自己研鑽(常に学習を)

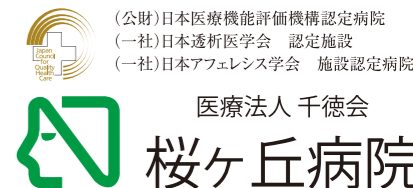
経営理念

「職場は、職員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である」
「我々は最大の病院になることを望まず、最良の病院になることを望む」

社会福祉法人守叡会

- 特別養護老人ホーム田鶴苑(介護老人福祉施設-短期入所事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町841-1 電話0737-82-6644 FAX0737-82-6609
- デイサービスセンター田鶴苑(通所介護事業)
- 訪問介護田鶴苑(訪問介護事業)
- 有田市在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)
- 特別養護老人ホーム愛宕苑(介護老人福祉施設-短期入所事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1 電話 0737-82-0600 FAX 0737-82-0606
- デイサービスセンター愛宕苑(通所介護事業)
- ケアハウス愛宕苑(地域密着型特定施設入居者生活介護事業)
- グループホーム愛宕苑(認知症対応型共同生活介護事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1 電話 0737-23-7177 FAX 0737-83-5501
- 特別養護老人ホームありだ橋苑(介護老人福祉施設-短期入所事業)
〒649-0314 和歌山県有田市野639-2 電話 0737-83-6255 FAX 0737-83-6260
- デイサービスセンターありだ橋苑(通所介護事業)
- 養護老人ホーム長寿荘(養護老人ホーム)
〒649-0315 和歌山県有田市山地57 電話 0737-82-2946 FAX 0737-83-2640

さくら通信



第56号
2023.7

第6回さくら健康フェスタを開催しました(令和5年7月2日)



有田市民会館1階にて「第6回さくら健康フェスタ」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、約190名の方が参加してください大盛況となりました。紀文ホールで行われた「清流太鼓かなや伝々」の皆さんによるオープニングイベントではとても迫力のある太鼓の演奏、他にも恒例の無料健康チェックや医療介護相談、コースター作り、キッズコーナーなど、盛りだくさんの催しに多くの方が参加されました。



今回は和歌山県が主催する「出張!減災教室」である“地震体験車ごりよう君”による地震体験や減災講演も実施し、災害時の初期対応や自宅のできる防災ポイントなどについて知っていただけました。

今後も、地域の皆さんの健康づくりに貢献できる取り組みを続けていきたいと思ひます。



事務長就任のご挨拶

事務長 せとう よしつぐ
瀬藤 義嗣



令和5年7月1日付けで事務長に就任いたしました瀬藤義嗣と申します。

私は、長年行政に携わり、その中で病院の運営や医療スタッフを支える職務にも従事してまいりました。この度の就任にあたり、官民の違いに多少の戸惑いを感じながらも、職責を果たせるよう努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、近年の医療を取り巻く状況に目を向けますと、人口減少・高齢化は着実に進みつつあり、医療ニーズの質と量も徐々に変化しています。また今後は、特に生産年齢人口の減少に伴いマンパワーの確保などの対応が必要になると言われております。どのような状況下にあっても、当院は健全な病院運営を目指し、有田地域の病院として良質な医療の提供という使命を果たしていかなければなりません。また、必ず起きると言われている巨大地震など災害時における医療体制の構築についても同様です。日頃から準備し非常時においても役割を果たせるようにする必要があります。

桜ヶ丘病院は、和歌山県の民間病院の中では歴史が古く、これまで有田地域での医療や介護の充実に取り組んできました。私も前職での経験を生かし、その取組の一翼を担えるよう尽力していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

薬剤師介入による減薬への取り組み



当院では高齢者の入院患者様が多く、6剤以上を服用されている方も少なくありません。そのため、薬剤師が入院時の持参薬鑑別において積極的に介入しています。腎機能が低下している患者様の場合、薬剤によっては減量・中止が必要になることがあります。他の病気であっても患者様やそのご家族様から不要な薬剤の整理を希望された場合には、残薬状況などを評価したうえで医師に減量・中止提案しています。病棟業務や委員会活動、カンファレンスなどを通じ他職種からの視点も踏まえてアプローチを行うなど、病院全体として減薬推進に向け取り組んでいます。

今後は、退院後の情報提供やトレーシングレポート活用の充実化などを図り、薬薬連携など地域全体を巻き込んだ減薬推進を目指していきたいと考えています。

●第68回 日本透析医学会 学術集会・総会 (令和5年6月16日～18日 於:神戸国際会議場)

成川暢彦院長をはじめ腎センタースタッフ計4名が参加し、新谷亜紀看護師がポスター発表を行いました。

◇演題名

「透析中の疼痛緩和 ～看護の原点 患者に寄り添うタッチング～」



透析治療中のシャント肢痛緩和のため、声掛けや痛みの表出、ホットパックなどさまざまな取り組みの中で「タッチング」が疼痛緩和に最も効果的であったという内容の発表を行いました。

●第47回桜ヶ丘病院研究発表会 (令和5年5月20日)

当院及び関連施設の5施設においてハイブリッド形式で開催し、各部門・委員会から計7題の演題発表を行いました。

【最優秀賞】 4階病棟 看護師 橋爪 怜美

「新卒看護師の不安軽減に向けた
ポケットマニュアルの作成」

仕事を行う上で、新人看護師がどこに心理的負担を感じているかアンケート調査で明らかにし、ポケットマニュアルを作成。教育担当者がそのマニュアルを活用して指導を行うことで、新人看護師の心理的負担を軽減するという内容でした。



特別講演では、和歌山県立医科大学内科学第一講座 松岡孝昭教授をお招きし、「糖尿病合併症予防のために」というテーマで、糖尿病に関する予防医学や最新の知見などについて講演を行っていただきました。